

# KFA 第3 2回鹿児島県 U-15 サッカー選手権大会 新型コロナウイルス感染防止対策

以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる

- 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## 1 事前準備

- (1)チーム内において感染対策責任者を定め、鹿児島県サッカー協会の感染対策責任者を把握する。
- (2)競技会・試合に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。（不安がある場合は参加を見送る）
- (3)鹿児島県サッカー協会から参加チーム用感染症対策チェックリストを入手し、競技会開催日まで健康チェックを行う。
- (4)保護者が競技会の会場、日時、対戦相手を理解しており、参加を了承している。（了承しない場合は無理に参加させない。）
- (5)チーム用の手洗い用の石鹸・ハンドソープを準備する。

## 2 往復の移動

- (1)マスクを着用する。
- (2)往復の交通機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。
- (3)窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
- (4)切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。
- (5)電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。
- (6)目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。
- (7)寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。

## 3 試合前

- (1)選手・指導者・スタッフはマスクを着用する。
- (2)感染症対策チェックリストを大会本部の感染対策責任者に提出する。
- (3)着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- (4)更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする
- (5)握手やハイタッチ等は行わない。
- (6)円陣は行わない。
- (7)ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。

## 4 試合中

【試合関係者のコミュニケーション、給水等】

- (1)指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。
- (2)プレー以外の不要な接触を避ける（得点後の喜び、交代時の握手等）。
- (3)ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
- (4)ベンチでの選手間の距離を保つ。
- (5)サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。

- (6)水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。
- (7)ボトルを他の選手と共有しない。
- (8)タオル等、リネンを他の選手と共有しない。
- (9)うがいした水をピッチ内に吐かない。
- (10)ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。

#### 【ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応】

- (1)ベンチ，更衣室に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。
- (2)選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。
- (3)退席や退場の際等、審判員と会話をするがあったとしてもその距離には十分に配慮する。
- (4)怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。
- (5)メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
- (6)試合後のチーム、審判員との握手、相手チームベンチへの挨拶は行わない。

## 5 試合後

- (1)更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする
- (2)着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- (3)試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。

## 6 帰宅後の過ごし方

- (1)手洗いうがいを徹底する。
- (2)バランスの良い食事をとる。
- (3)検温と共に行動記録を書く。
- (4)早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。

## 7 事後対応

- (1)帰宅後 14 日以内にチームの中から感染者が出た場合は、鹿児島県サッカー協会の感染対策責任者に速やかにその旨伝える。